やこう

学校だより　令和５年度９月号

令和５年８月３１日
横浜市立矢向小学校
ホームページアドレス
www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yako/

見えない力を育てる

校長　沼田　留美子

朝電車を待っていると、草むらの方から秋の虫の音が聞こえてきます。つい最近まで蝉があんなに元気よく鳴いていたのに、虫の声が聞こえると、秋だなあと感じます。今年の夏休みは、高温が続き、例年以上に暑い日が続きました。38 日間の夏休みを終え、校舎にも元気な声が戻ってきました。今週は、まだまだ気温が高く、休みが明けたばかりなので、体調を整える意味でも、外での活動を自粛しました。校門であいさつをしていると、いつも以上に丁寧にあいさつをする子が多かったように思います。家庭でもよい夏休みを過ごせたのだろうなとうれしくなりました。

夏休み前の 7 月には 4 年生の野島宿泊体験学習、6 年生の日光修学旅行が実施されました。4 年生は大潮の時をねらって、大きく干潮になっている時間に海に入り、普段水中にいてなかなか見られない生き物をたくさん発見していました。6 年生は、列車による日光修学旅行を実施、行きも帰りも椅子を向かい合わせにして、ゲームをしたり、お話をしたりして、とても賑やかでした。戦場ヶ原のさわやかな風の中のハイキングや歴史的な遺産をたくさん見ることができました。

また、今年も矢向、尻手、江ヶ崎それぞれもまちで夏のイベントが開催されました。どこを覗いても、子どもたちや地域の皆様の笑顔と活気があふれていました。学校では見られないようなきらきらとした姿に、みんな楽しみにしていたのだなあと感慨深いものがありました。人は人とのつながりの中で、いろいろなことを学ぶのだなあと実感しました。

教職員にとっての夏休みは、日頃なかなか取れない休息をとる機会ですが、同時に、自ら出かけて勉強する機会でもあります。夏休み期間中も、全校の教職員を対象によりよい横浜市の教育をつくるための研修が開催されました。子どもたちに大切なのは、学力もそうですが、くじけない心など目に見えない力も育てていくことが大事だといろいろなところで伝えられていました。矢向小学校では、地域とのつながりを大事にした学びを積極的に取り入れています。学校だけではなく、家庭や地域とともに力を合わせて、子どもたちのよりよい未来に向けて共に生きるための学びを通し育てることの大切さを感じました。

さて、今週は、横浜子ども会議が開催され他校との交流をする機会がありました。人とつながり、心を育て、矢向小だからこそできることにたくさん取り組む前期後半です。８０周年行事も控え長いスパンになりますが、ご支援ご協力の程、よろしくお願いします。